

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

シネラ・ニュース
October 2024fiaf 国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)は
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

10

カンペーン

タイ映画ニューウェーブ!
ブンソン・ナークプー with 空族

企画上映

ザクロとミルラ

企画上映

アジアの女性
映画監督再考
第3期:パレスチナ/トルコ篇

タイ映画ニューウェーブ! ブンソン・ナークプー with 空族

◎観覧料:大人=600円/大学生・高校生=500円/中学生・小学生=400円

福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員・障がい者の方および介護者の方1名=300円(要証明書・会員証原本提示)

福岡ユネスコ講演会&上映会

特別料金/イベント紹介欄に詳細記載

その他の上映

◎観覧料:大人=500円/大学生・高校生=400円/中学生・小学生=300円

福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員=250円(要証明書・会員証原本提示)

障がい者の方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

◎定員(242席、車椅子席4席)・各回入替制/当日券のみ・各回上映の1時間前から販売(上映開始30分後まで)

イベント上映

あなたの微笑み

福岡ユネスコ講演会&上映会
「アジア映画の面白さとは何か」

通年上映

妻は告白する

午前11時の
日本映画・
アジア映画
— classics

タイ映画ニューウェーブ!ブンソン・ナークプー with 空族

会期:10月9日(水)~26日(土)※休館日・休映日除く

助成:一般財団法人長瀬映像文化財団



トークイベント

10/12(土)「カンペン」上映後
15:00-16:00(予定) ※入場無料

登壇者(敬称略):
ブンソン・ナークプー
ピャチャット・ナークプー(プロデューサー)
富田克也(映画監督/空族)
相澤虎之助(映画監督・脚本家/空族)

ブンソン・ナークプー
Boonsong Nakphoo

1968年、タイのスコータイの農村に生まれ、10歳から10年間修行僧として寺院で育つ。その後、カセム・パソディット大学院でコミュニケーション・アーツ(映画・ビデオ)を専攻し、2011年に修士号を取得。1995年に短編映画を撮り始め、『Grandfather and Grandson』



(1996)、『Going Home』(1997)他がバンコク映画祭で賞に輝く。長編映画では『フォー・ステーションズ』(2012)がドービルアジア映画祭審査委員賞、『ワンドリング』(2016)が第1回アセアン-中国映画祭2017で審査員特別賞を受賞。2019年アジアフォーカス・福岡国際映画祭で『カンペン』(2018)を上映。その際、福岡市総合図書館のアーカイブを見学し、計7作品を寄贈された。また、タイ国内では監督業のほか俳優としても活躍している。

空族(くそく)

映像制作集団。2004年“作りた映画を勝手に作り、勝手に上映する”をモットーに、空族を名のりは始める。常識にとらわれない、長期間に及ぶ独特の映画制作を敢行し、配給、宣伝も自ら行なう。作品はすべて未ソフト化。映画作品に『バンコクナイツ』、『典座-TENZO』(2016, 2019 / いずれも富田克也監督)、『パピロン2 THE OZAWA』(2012 / 相澤虎之助監督)など。

◎ブンソン・ナークプー監督作品(7作品) すべて福岡市総合図書館所蔵/特に表記のないものDCP上映

9 水 14:00 26 土 14:00

偉大なる貧しき人々
Poor People the Great

監督が生まれ育ったスコータイの農村を舞台に、家庭内の衝突、それぞれが抱えるやるせない思いが、村の自然と日々の生活風景の中で静かに哀愁とともに描かれる。故郷の農村を舞台とした三部作の第一作で、監督自身が設立したPLA PEN WAI THUAN NAM スタジオ初の作品。このスタジオ名は、「水の流れて逆らって上流へ泳ぐ魚」という意味を持ち、これは監督の信条でもある。



2010 / タイ / 76分 / カラー / 日本語・英語字幕付き / デジタル上映

14 月・祝 14:00 18 金 14:00

ワンドリング
Wandering

愛する息子を亡くし、妻に捨てられた男は、悲嘆に暮れ、酒浸りの日々を送っている。苦しみや孤独感を忘れようとするが、まよい歩く。そんな中、ある僧侶と出会ったことで、男は仏門に帰依することとなる。僧侶に導かれて出家し、奥深い山、そして深緑の森で、男は修行を始める。人の営みを越えた圧倒的な自然に囲まれながら、魂の救いと赦しを求めて苦しみ、そして祈る男の姿は、見る者の胸を打つ。



2015 / タイ / 121分 / カラー / 日本語字幕付き

12 土 13:30 25 金 14:00

カンペン
The Wall

映画監督スーパは、若いスタッフを連れてロケハンに出て、むかし過ごした場所に向かう。次回作は自分の過去の物語である。貧しい家庭の男子は、僧侶になることでしか未来を切り開くことはできなかった。監督は見習い僧だった少年時代を回想してゆく。ブンソン・ナークプー監督による映画作りについての映画であり、監督本人が、脚本・主演を兼ねている。アジアフォーカス・福岡国際映画祭2019上映作品。



出演:ブンソン・ナークプー
コムチャット・ミートブン
2018 / タイ / 91分 / カラー / 日本語・英語字幕付き

13 日 11:00 23 水 14:00

フォー・ステーションズ
Four Stations

列車、駅、そして線路が、4つの場所で繰り広げられる人々の営みを結びつけ、様々な人間模様の悲哀が描かれる。監督の故郷の農村を舞台に、名もない人々の名もない物語が、静かに叙情豊かに表現されていく。タイ文学の影響を大きく受けてきたと語る監督は、タイ国内で主流の商業映画とは一線を画す形で、インディペンデント映画の製作を標榜している。



2011 / タイ / 108分 / カラー / 日本語・英語字幕付き

13 日 14:00 19 土 17:00 24 木 14:00

ソング・フロム・パッタルン
Song from Phatthalung

タイ南部の農村に暮らす18歳のフォンは歌手になる夢を抱いているが、恋人はバンコクに去ってしまう。失意の中で、先輩のオーたちとバンドを結成し音楽活動を始める。彼らは、貧しい農村地域の若者たちの夢を実現するため地元のゴム農園でのコンサートを企画する。タイ南部の山間部で暮らす少数民族など歴史的背景も織り込まれながら、農村の風景や生活を軽快なカントリーソングとともに描き出した青春映画。



2016 / タイ / 120分 / カラー / 日本語字幕付き

空族作品(2作品) / DCP上映

12 土 16:30 17 木 14:00

バンコクナイツ
Bangkok Nites

バンコクの歓楽街「タニヤ通り」。タニヤ嬢ラックと元自衛隊員のオザワの逃避行を描くロードムービーにして、それを取り巻くタニヤ嬢たちと、バンコクに蠢く怪しい日本人たちの欲望渦巻く群像劇。物語はバンコクからイサーン(タイ東北地方)、そしてラオスへ移動し、現地の人々との深い交流によって完成した。イサーンの伝統音楽モーラムなど、ローカルの音楽をふんだんに盛り込んでいることも本作の魅力になっている。



監督:富田克也 脚本:相澤虎之助、富田克也
出演:スベンジャ・ボンコン、富田克也
2016 / 日本・フランス・タイ・ラオス / 182分 / カラー / 日本語字幕付き

10 木 14:00 20 日 11:00

ヴィレッジ・オブ・ホープ
Village of Hope

若い兵士ゾーンは除隊の前に休暇を取り故郷の村に帰ってくる。家には祖母や親戚たちが住んでいる。父親は借金の末破産して村にはいない。母は家を出ており、兄も行方不明。親戚たちもみな苦しい生活をしており、家に帰ってもゾーンは孤独だった。タイトルとは裏腹の現実。ある家族を通して現代の村が抱える問題を描いた作品。本作はタイのフィルムアーカイブに「タイの映画遺産」として保存されている。



出演:グライソーン・ナークプー
トゥープ・ナークプー
2013 / タイ / 70分 / 白黒 / 日本語字幕付き

11 金 14:00 19 土 14:00

シーン・アンド・ライフ
Scene and Life

鳥のさえずりが聞こえる緑豊かな村で、様々な人生のワンシーンが連なり、人々の等身大の生活が静かに情感豊かに描かれる。村の風景、村人の悲喜こもごもの人生や生活が、繊細につづられる群像劇。監督の故郷の農村ワンピクンを舞台とした「偉大なる貧しき人々」、「ヴィレッジ・オブ・ホープ」と続く三部作の最終作。劇中に登場する、年老いた母の住む実家を訪れ料理する男はナークプー監督本人である。



2017 / タイ / 90分 / カラー / 日本語・英語字幕付き

14 月・祝 11:00 26 土 16:00

典座 -TENZO-
TENZO

富士山の裾野に広がる寺で、智賢は重度の食物アレルギーを抱える息子と暮らしている。一方の兄弟子・隆行は福島県沿岸部にあったかつての寺を津波によって流されてしまった。演じているのは、全国曹洞宗青年会の実際の僧侶たち。曹洞宗の高僧・青山俊董老師の元へ実際に智賢が訪ね、交わされた対話を軸に現代日本の僧侶たちの日常が、フィクションとドキュメンタリーの枠を超え描かれる。



監督:富田克也 脚本:相澤虎之助、富田克也
出演:河口智賢、近藤真弘、倉島隆行、青山俊董
2019 / 日本(全国曹洞宗青年会) / 62分 / カラー

アジアの女性映画監督再考

第3期:パレスチナ/トルコ篇

アジア各国の女性監督によって制作された作品を継続的に特集します。

会期:10月2日(水)~6日(日)

©すべて福岡市総合図書館所蔵/35ミリフィルム上映

3 木 14:00 5 土 14:00 Pomegranates and Myrrh

ザクロとミルラ



ダンサーのアマルは、広大なオリーブ園を持つザイドと結婚する。ところがある日、イスラエル兵によりザイドは拘束され、オリーブ園も没収される。一家は弁護士を雇って抗議するが、ザイドは釈放されない。パレスチナ自治区にある都市・ラマラを舞台とした物語で、不安の中で抵抗を続ける様子が描かれている。

監督:ナジュワ・ナッジャール

出演:ヤースミン・アル=マスリ/アシュラフ・ファラハ
2009/パレスチナ/99分/カラー/日本語・英語字幕付き

2 水 14:00 6 日 14:00 Hejar

少女ヘジャル



家族を亡くした5歳のクルド人少女ヘジャルは、イスタンブールの親戚に預けられる。しかしその親戚の家が突然警察に襲撃され、ヘジャルは隣人宅に隠れる。そこには75歳の元判事ルファトが住んでいるが、ルファトはクルド語が話せず二人は会話を通じないのだった。トルコにおけるクルド人との内戦を背景に、ヘジャルとルファトの心の交流に平和を願う監督の気持ちが込められた作品。

監督:ハンダン・イベクチ

出演:ディラン・エルチェティン/シュ克蘭・ギュンギョル
2001/トルコ/119分/カラー/日本語・英語字幕付き

4 金 14:00 6 日 11:00 10 to 11

11時10分前



83歳のミトハトはイスタンブールの古いアパートで一人暮らし。彼は様々な物を収集しており、溢れた収集物は住人の苦情になっていた。アパートは老朽化しており建て替えが必要だったが、ミトハトの反対でまともな。ミトハト老人は監督の父の伯父で、本作は監督が本人をモデルに物語を作ったもの。旧市街に住む人々と街を、ノスタルジックに愛情をこめて描いた。

監督:ペリン・エスメル

出演:ネジャット・イシレル/ミトハト・エスメル
2009/トルコ=フランス=ドイツ/115分/カラー/日本語・英語字幕付き

通年
上映

午前11時の 日本映画・アジア映画

福岡市総合図書館が収蔵する映画のなかから、日本・アジア各国の選りすぐりの古典映画や名作映画を木曜、金曜、土曜に週替わりで上映します。

©すべて福岡市総合図書館収蔵作品/35ミリフィルム上映

classics

3 木 11:00
4 金 11:00
5 土 11:00



青春残酷物語

大人の世界に興味を持つ女子高生・真琴は、見知らぬ男性の車に乗り、ホテルに連れ込まれることになる。そこを助けた大学生の清は、男から金を取る。味をしめた二人は中年男を引っかけ金を脅し取っては遊び歩く。当時の社会背景を織り込みながら若者達の無軌道な暴走を描いた大島渚の監督第二作にして出世作。

監督:大島渚 出演:桑野みゆき/川津祐介

1960/松竹(大船)/96分/カラー

17 木 11:00
18 金 11:00
19 土 11:00



妻は告白する

北徳高の岸壁から大学助教授の滝川が足を滑らせて死亡する。一緒に登っていたのは妻の彩子と彩子の愛人の幸田だった。夫に多額の保険金が掛けられていたことから検察は彩子と幸田による殺人を疑う。若尾文子は本作をきっかけにアイドル女優から日本映画を代表する大女優へと成長していく。増村監督を代表する傑作である。

監督:増村保造 出演:若尾文子/川口浩

1961/大映(東京)/91分/白黒

10 木 11:00
11 金 11:00
12 土 11:00



狩り場の掟 On the Hunting Ground

内モンゴルの大草原を背景に、狩猟の営みを題材とした田壮士の単独監督デビュー作。「狩り祭」で何も捕れなかったザップ(敖特銀)は、他人の獲物を横取りした掟破りを咎められ罰を受ける。現地の人々を起用し、ストーリー性を極力排した徹底的な客観描写ながら、民族独自の情熱や躍動感、土着性を表現している。

監督:ティエン・チュアンチュアン

出演:アルターケン・バヤ ラーシ

1985/中国/80分/カラー/日本語字幕付き

24 木 11:00
25 金 11:00
26 土 11:00



推手

Pushing Hands

太極拳の名手チューは引退して、アメリカに住む息子アレックスの元にやってくる。アレックスにはアメリカ人の妻と息子がいた。妻のマーサは英語が話せないチューにいらいらして、胃潰瘍になってしまう。世界的な映画監督となったアン・リーのデビュー作。異文化の中で心のバランスをとるやり方を太極拳に例えているところが面白い。

監督:アン・リー 出演:ロン・シヨン/ライ・ウォン

1991/台湾/107分/カラー/日本語・英語字幕付き

福岡ユネスコ講演会&上映会 アジア映画の面白さとは何か

- ①田井 肇 氏(シネマ5支配人)講演(30分)
 - ②映画上映(103分):リム・カーワイ監督作品『あなたの微笑み』
 - ③対談(45分):田井 肇氏、リム・カーワイ監督
司会進行:佐々木亮氏(ライター)
- 観覧料:一般:1,000円/学生・留学生:500円
●申込方法:催し名(「アジア映画の面白さ」)/氏名(参加者全員)
連絡先(FAXまたはメールアドレス等)を明記の上、
メールかFAXでお申し込み下さい

メールアドレス:funesco2014@gmail.com
FAX:092-733-1291

※講演会と映画上映はセット料金/講演のみ・上映のみでも同観覧料
※学生・留学生の方は要身分証提示 ※高齢者・障がい者割引なし

田井肇(たい・はじめ/シネマ5支配人)

1956年岐阜市生まれ。1989年より大分市で映画館「シネマ5」を経営。地方ミニシアターの第一世代となる。2011年に姉妹館「シネマ5bis」をオープン。2008年より現在まで大分県興行組合の理事長、2012年より2021年まで(一社)コミュニティシネマセンター代表理事。



リム・カーワイ(林家威/Lim Kah Wai)

マレーシア出身。北京電影学院を卒業し、日本(大阪)を拠点に多国籍のスタッフ・キャストとともに映画制作を進めている。主な作品に『アフター・オール・ディーズ・イヤーズ』(北京で制作)、『マジック&ロス』(香港で制作)、大阪三部作『新世界の夜明け』『恋するミナミ』『カム・アンド・ゴー』、バルカン三部『どこでもない、ここしかない』『いつか、どこかで』『すべて、至るところにある』(最新作)



上映作品

あなたの微笑み

監督:リム・カーワイ

出演:渡辺紘文

平山ひかる

尚玄

2022/日本(Cinema Drifters)/103分/カラー/DCP上映

1火	休映日		
2水	14:00	少女ヘジャル	
3木	11:00 青春残酷物語	14:00	ザクロとミルラ
4金	11:00 青春残酷物語	14:00	11時10分前
5土	11:00 青春残酷物語	14:00	ザクロとミルラ
6日	11:00 11時10分前	14:00	少女ヘジャル
7月	休館日		
8火	休映日		
9水	14:00	偉大なる貧しき人々	
10木	11:00 狩り場の掟	14:00	ヴィレッジ・オブ・ホープ
11金	11:00 狩り場の掟	14:00	シーン・アンド・ライフ
12土	11:00 狩り場の掟	13:30 カンペーン 15:00 対談:ブンソン・ナークプー ピャチャット・ナークプー 富田克也、相澤虎之助	16:30 パンコクナイツ
13日	11:00 フォー・ステイションズ	14:00	ソング・フロム・パツタルン
14月祝	11:00 典座 -TENZO-	14:00	ワンダリング
15火	休館日		
16水	休映日		
17木	11:00 妻は告白する	14:00	パンコクナイツ
18金	11:00 妻は告白する	14:00	ワンダリング
19土	11:00 妻は告白する	14:00	シーン・アンド・ライフ
20日	11:00 ヴィレッジ・オブ・ホープ	14:00	福岡ユネスコ講演会&上映会 「あなたの微笑み」上映+トークイベント
21月	休館日		
22火	休映日		
23水	14:00	フォー・ステイションズ	
24木	11:00 推手	14:00	ソング・フロム・パツタルン
25金	11:00 推手	14:00	カンペーン
26土	11:00 推手	14:00	偉大なる貧しき人々
27日	11:00 悪は存在しない	13:30開場 / 14:00	GIFT+石橋英子ライブ・パフォーマンス
28月	休館日		
29火	休映日		
30水	休映日		
31木	休館日		

企画上映/アジアの女性映画監督再考 第3期:パレスチナ・トルコ篇

企画上映/タイ映画ニューウェーブ! ブンソン・ナークプー with 空族

イベント上映/福岡ユネスコ講演会&上映会

通年上映/午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

Asian Film Joint 2024 プレイベント

「悪は存在しない」/「GIFT」(生演奏:石橋英子)

主催:三声舎

助成:(公財)福岡市文化芸術振興財団

「FFAC ステップアップ助成プログラム」

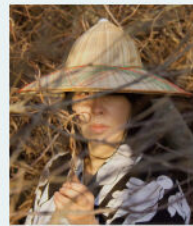
(公財)野村財団

後援:福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団

10月27日(日)

11:00 「悪は存在しない」

2023 / 日本 / 106分 / DCP上映 監督:濱口竜介



©2023 NEOPA/Fictive

14:00 「GIFT」(生演奏:石橋英子)

2023 / 日本 / 73分 / DCP上映 監督:濱口竜介

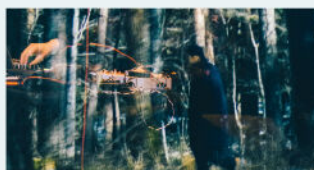
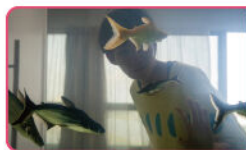


photo by Shuhei Kojima

※チケット情報など詳細はAsian Film Joint 2024 ウェブサイト (asianfilmjoint.com)にて近日発表予定

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」とは

映画フィルム、テレビ番組、様々な録音・録画物などの視聴覚遺産を保存し安全保護する事業や活動を推進し、その重要性を啓蒙するために、ユネスコが2006年に定めた国際記念日。ユネスコに属する視聴覚保存機関連絡協議会(CCAA)での決定を受けて2007年から世界で実施されている。なお、10月27日は、1980年ベオグラードで「映像の保護及び保存に関するユネスコ勧告」が採択された日。国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)でも、連盟をあげてこの日を祝うことを決定し、世界中の会員機関が記念イベントなどの事業に取り組んでいる。



来月のシネラ予告

11/7~ Asian Film Joint 2024

「Sleep with Your Eyes Open」
(2024 / Nele Wohlatz監督作品)

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

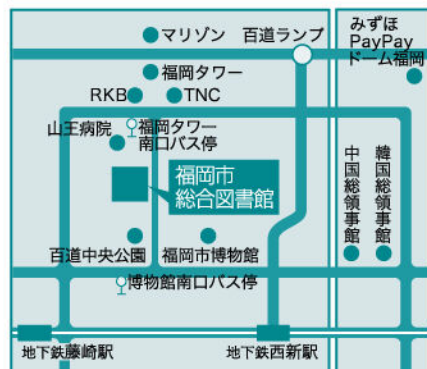
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。